

平成 27 年度

第 1 回 栄区セーフコミュニティ推進協議会

日時:平成 27 年4月 23 日(木) 15 時 00 分から

場所:栄区役所新館4階8・9号会議室

- 1 平成 27 年度のセーフコミュニティの取組について
- 2 各分科会の取組について
- 3 セーフコミュニティ認知度の向上について
- 4 防犯対策分科会の設立について
- 5 他都市の取組状況について

平成27年度第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会出席者

役職	職位	氏名
会長	栄区長	尾仲 富士夫
副会長	栄区連合町内会長	磯崎 保和
〃	栄警察署長	小森 安晃
〃	栄警察署 課長	竹村
〃	栄消防署長	佐藤 重義
委員	笠間連合町内会自治会 会長	持田 忠
〃	小菅ヶ谷連合町内会自治会 会長	田中 房一
〃	本郷中央連合町内会自治会 会長	細田 利明
〃	上郷西連合町会 会長	新保 孝雄
〃	上郷東連合町会 会長	吉田 敏生
〃	栄区社会福祉協議会 会長	日浦 美智江
〃	栄区民生委員児童委員協議会 会長	長瀬 潔
〃	栄区薬剤師会 会長	北内 末子
〃	栄歯科医師会公衆衛生理事	朝廣 賢哲
〃	災害安全対策分科会座長	磯崎 保和
〃	子ども安全対策分科会座長	片岡 喜久江
〃	スポーツ・余暇安全対策分科会座長	丸山 隆
〃	交通安全対策分科会座長	森 克己
〃	児童虐待予防対策分科会座長	宮崎 良子
〃	高齢者安全対策分科会座長	竹谷 康生
〃	自殺予防対策分科会座長	小田原 俊成
参与	栄区議員団	大桑 正貴
〃	栄区議員団	輿石 且子
〃	栄区議員団	石渡 由紀夫
〃	栄区議員団	楠 梨恵子

平成 27 年度 第 1 回 栄区セーフコミュニティ推進協議会議事録

日 時：平成 27 年 4 月 23 日（木）15 時 00 分～16 時 00 分

場 所：栄区役所新館 4 階 8・9 号会議室

出席者：【委員】

磯崎副会長（栄区連合町内会長）、小森副会長（栄警察署長）、
佐藤副会長（栄消防署長）、持田委員（笠間連合町内会自治会長）、
田中委員（小菅ヶ谷連合町内会自治会長）、細田委員（本郷中央連合町内会自治会長）、
保坂委員（本郷第三連合町内会長）、新保委員（上郷西連合町会長）、
吉田委員（上郷東連合町会長）、日浦委員（栄区社会福祉協議会）、
長瀬委員（栄区民生委員児童委員協議会長）、北内委員（栄区薬剤師会長）、
朝廣委員（栄歯科医師会公衆衛生理事）、片岡委員（こども安全対策分科会座長）、
丸山委員（スポーツ・余暇安全対策分科会座長）、森委員（交通安全対策分科会座長）、
宮崎委員（児童虐待予防対策分科会座長）、竹谷委員（高齢者安全対策分科会座長）、
小田原委員（自殺予防対策分科会座長）

【栄区役所】

区長、副区長、福祉保健センター長、担当部長、土木事務所長、総務課長（災害安全対策分科会）、
学校連携・こども担当課長、地域振興課長、土木事務所副所長、こども家庭支援課長、
高齢・障害支援課長、福祉保健課長、区政推進課長、庶務係長、危機管理担当係長、
企画調整係長

1 平成 27 年度のセーフコミュニティの取組について

事務局から、推進協議会の委員の交代及び分科会の委員構成の変更、名称の変更について説明しました。また、再認証に向けた取組の重点化について説明するとともに、今年度行うセーフコミュニティフォーラム、第 3 期栄区地域福祉保健計画について説明しました。

【質問・意見】 特になし。

2 各分科会の取組について

それぞれの分科会の事務局から、これまでの取組と再認証に向けた重点取組について説明しました。

【質問・意見】 特になし。

3 セーフコミュニティ認知度の向上、防犯対策分科会の設立、他都市の取組状況について

事務局から、セーフコミュニティ認知度の向上、防犯対策分科会の設立、他都市の取組状況について説明しました。

【質問・意見】

- ① 防犯対策分科会の設立について、振り込め詐欺の防止には警察署としても力を注いでいきたいので、皆さんの協力をお願いしたい。（小森副会長）

- ② 認知度の向上については、高齢者の集まるイベント等でもPRを行うことが有効ではないか。(小森副会長)
- ③ 平成30年度の再認証に向けての具体的なスケジュールと意気込みを聞きたい。(吉田委員)
⇒平成28年度に中間審査が行われるため、今年度からそれを見据えた計画を立てていきたい。(事務局)
⇒各分科会の取組の中で、数値として特に悪い部分を重点的に取り組むべき。(吉田委員)
⇒本日報告した再認証に向けての重点取組は、これまでの取組の課題を踏まえて検討しており、効果が数値的にも表れるよう推進していきたい。(事務局)
- ④ 昨年台風18・19号による被害を受けた学校橋の工事が遅れていると聞かすが、今秋の台風の時期に間に合うのか。(長瀬委員)
⇒当初2ヶ年の予定の工事が3ヶ年に変更になったため、完成が遅れてしまうが、今秋から工事を始める予定。(事務局)
- ⑤ 高齢者への振り込め詐欺を摘発するために、だまされたふりをする演技指導なども行ってはどうか。(吉田委員)
⇒だまされたふりをして犯人逮捕につなげることは危険も伴うため、慎重に検討する必要がある。(小森副会長)
- ⑥ 防犯という面では、自転車窃盗防止のために鍵の取り付けを呼びかけていきたい。できればツーロックをお願いしていきたいと思う。また、万引き防止のためにいろいろな店舗に協力依頼を行っているが、警察署だけでは難しいため、ぜひセーフコミュニティとしての呼びかけもお願いしたい。(小森副会長)
- ⑦ 防犯分科会の資料について、委員構成はまだ未確定のため、それぞれの団体名の後に「等」を追記していただきたい。(事務局)